



J-STAGEセミナー

“J-STAGEとCCライセンス”

平成28年3月14日

知識基盤情報部



科学技術振興機構

本日の内容

1. J-STAGE学協会様向けアンケート結果(抜粋)
2. J-STAGEとCCライセンスについて
3. J-STAGEと外部サービスとの連携について
(CCライセンスの導入メリット)

1. J-STAGE学協会様向けアンケート結果(抜粋)

○実施期間:平成28年1月20日～2月18日(回答数:331誌)

問13. 貴誌はクリエイティブ・コモンズ(CC)・ライセンスをご存じですか。(1つ選択)	回答数	%
知っている	92	28
知らない	239	72
合計	331	100

問13-1. 貴誌はクリエイティブ・コモンズ(CC)・ライセンス表示の導入を検討していますか。(1つ選択)	回答数	%
すでに導入している	6	7
導入を検討している	17	18
未定	69	75
合計	92	100

問13-1-A. 未定の理由は何ですか。(複数選択可)	回答数	%
導入の仕方がよく分からない	22	24
導入した後の運用方法がよく分からない	33	36
導入するメリットがない	20	22
その他	17	18

1. J-STAGE学協会様向けアンケート結果(抜粋)

問14. 今後J-STAGEで開催してほしいセミナーはありますか(自由記述)	回答数	%
J-STAGEの使い方(データ作成、アップロード、XML)	16	29
CCライセンス、著作権	11	20
IF向上、国際発信力	7	13
J-STAGEの活用事例	6	11
投稿審査システム	3	5
オープンアクセス、オープンサイエンス	2	4
その他	10	18
合計	55	100



CCライセンスへの関心、導入検討が広がりつつあることがうかがえる。

2.J-STAGEとCCライセンス

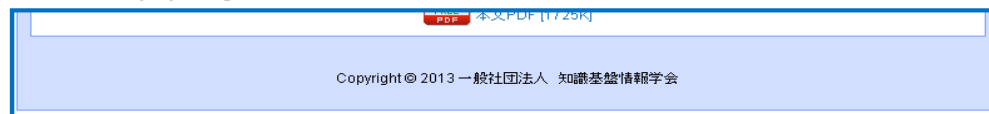
著作権情報の柔軟な入力と表示(平成26年7月リリース)

ジャーナル単位での設定が可能となった。

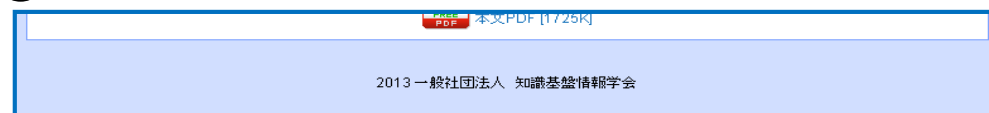


画面下部に
Copyright© + 発行年 + 著作権者
と固定文言で表示されていました。

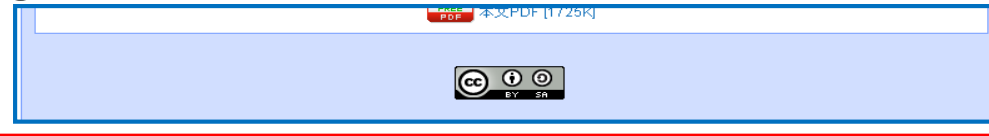
① Copyright© + 発行年 + 著作権者



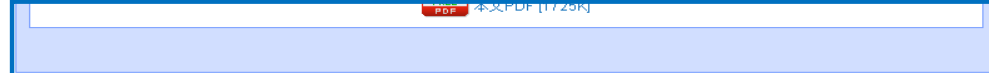
② 発行年 + 著作権者



③ Creative Commons ライセンスマーク



④ 表示しない



4種類から選択可能になります。
また表示位置も選択可能になります。
(ジャーナル単位)

2.J-STAGEとCCライセンス

●J-STAGEジャーナルのCCライセンス導入

問13-1. 貴誌はクリエイティブ・コモンズ(CC)・ライセンス表示の導入を検討していますか。(1つ選択)	回答数	%
すでに導入している	6	7
導入を検討している	17	18
未定	69	75

- ・J-STAGEのCCライセンス表示機能を利用
- ・本文PDFファイルにCCライセンス表示を行う
- ・投稿規定にCCライセンスを導入している旨を記載
- ・学会のHPにCCライセンスを導入している旨を掲載

上記のいずれか、または組み合わせによりライセンス導入していることを周知

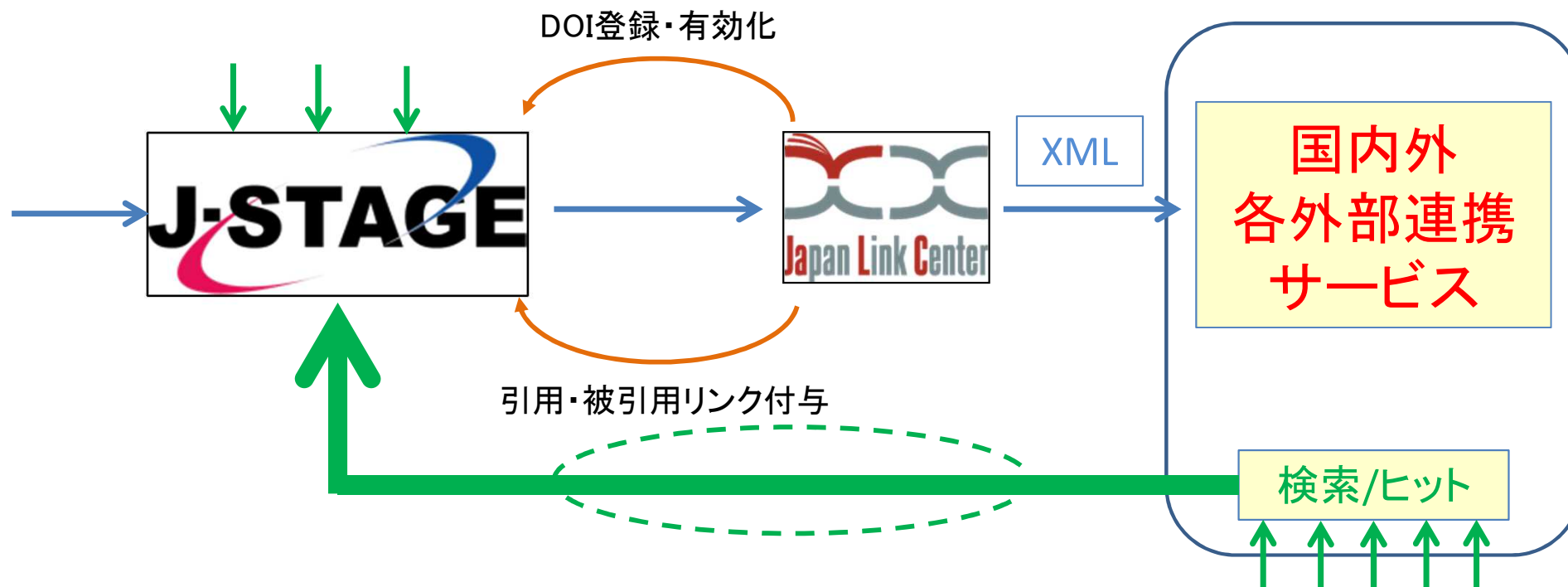
3. J-STAGEと外部サービスとの連携について

本サービスは、学協会、国公立試験研究機関並びに研究開発又は研究開発支援を目的とする独立行政法人等（以下「学協会等」という。）が発行する、雑誌、予稿集等の科学技術刊行物（人文科学・社会科学に関するものを含む。以下「科学技術刊行物」という。）の電子化を支援し、**電子化された科学技術刊行物の国内及び国際的流通を促進する**とともに、オープンアクセスを推進する情報発信・流通基盤としての役割を果たすことを目的とするものである。

（科学技術情報発信・流通総合システム利用規約より抜粋）

3. J-STAGEと外部サービスとの連携について

→ データ
→ 閲覧



J-STAGEにおける記事公開にとどまらず、外部サービスとデータ連携し、公開記事を広範囲に流通させることで、国内・海外からの閲覧機会向上を図っています。

3. J-STAGEと外部サービスとの連携について

The image shows a screenshot of the PubMed website on the left and the J-STAGE website on the right. A red circle highlights the 'Full text links' button in the PubMed interface, which includes a 'J-STAGE FREE' logo. A red arrow points from this button to the J-STAGE website. Another red circle highlights the 'Full Text PDF [264K]' button in the J-STAGE interface, with a red arrow pointing back to the PubMed button, illustrating the integration between the two services.

PubMed Interface (Left):

- Search bar: PubMed
- Article Title: **Vinexin, CAP/ponsin, ArgBP2: a novel adaptor protein family regulating cytoskeletal organization and signal transduction.**
- PMID: 11937713 [PubMed - indexed for MEDLINE] **Free full text**
- Buttons: Add to Favorites

J-STAGE Interface (Right):

- Journal: *Cell Structure and Function*
- Article Title: **Vinexin, CAP/ponsin, ArgBP2: a Novel Adaptor Protein Family Regulating Cytoskeletal Organization and Signal Transduction**
- Released: 2002/04/05
- Keywords: SH3, sorbin, anchorage-dependence, insulin, vinexin
- Buttons: Full Text PDF [264K]

3. J-STAGEと外部サービスとの連携について

●新規外部サービスとの連携推進

①データ提供に関する契約締結

- ・ 何のデータを提供するか
- ・ 対象とするジャーナル
- ・ **提供したデータが連携先サービスでどのように利用されるのか**
→著作権に関わるか否か

②技術面の確認

(連携先がシステムの的に問題なくデータを取得できるか否か)

3. J-STAGEと外部サービスとの連携について

●連携先のサービスにおいて、提供データが著作権に関わる利用のされ方をする場合

CCライセンス表示があると . . .

- ・ 二次利用可能な範囲が判断されやすくなり、コンテンツの流通に有利。
- ・ 外部連携の推進にも有利となり、論文の閲覧機会が広がる可能性あり。
- ・ 著者や発行機関にとってもメリット。

CCライセンス表示がないと . . .

- ・ 著作権者（学協会様）に都度許諾を取る必要あり。
- ・ 当該外部サービスとの連携機会を失ってしまう。
- ・ 論文の閲覧機会を失われてしまうことに。

3. J-STAGEと外部サービスとの連携について

CCライセンス表示により . . .

著作権者（学協会様）に都度許諾を取る必要がなくなるため、外部サービスとの連携が推進される方向となる。



J-STAGE利用学協会様にとって、研究成果が利用される機会が増えるメリットが広がる。

学協会様：CCライセンスのご検討

J-STAGE：柔軟な表示ができるように検討

本日のまとめ

- J-STAGE学協会様向けアンケート結果
 - ・CCライセンスへの関心、導入検討が広がりにつつある
- J-STAGEとCCライセンス
 - ・CCライセンスの表示可能
- J-STAGEと外部サービスとの連携について
 - ・ライセンス表示により、利用者による活用促進へ
 - ・外部サービスとの連携推進にも有用

コンテンツの流通促進、国際発信力強化へ

ご清聴ありがとうございました。